

円安時代でもOK！オフシーズン&セール活用で実現する「安い海外旅行」完全ガイド



「海外旅行は高い」というイメージを持っていませんか？

円安が続く中でも、実はリーズナブルに海外を満喫できる方法があります。

本記事では、旅費をぐっと抑えつつも充実した海外旅行を実現するポイントをわかりやすく解説します。

以下の内容を知れば、費用面での不安を解消し、希望の国へ思い切り出かけられるようになるでしょう。

■本記事を読むと得られる3つのポイント

1. オトクに海外旅行を楽しむための具体的な方法
2. 円安時期でも出費を最小限に抑えるコツ
3. ツアーや日数など条件に合わせた節約テクニック

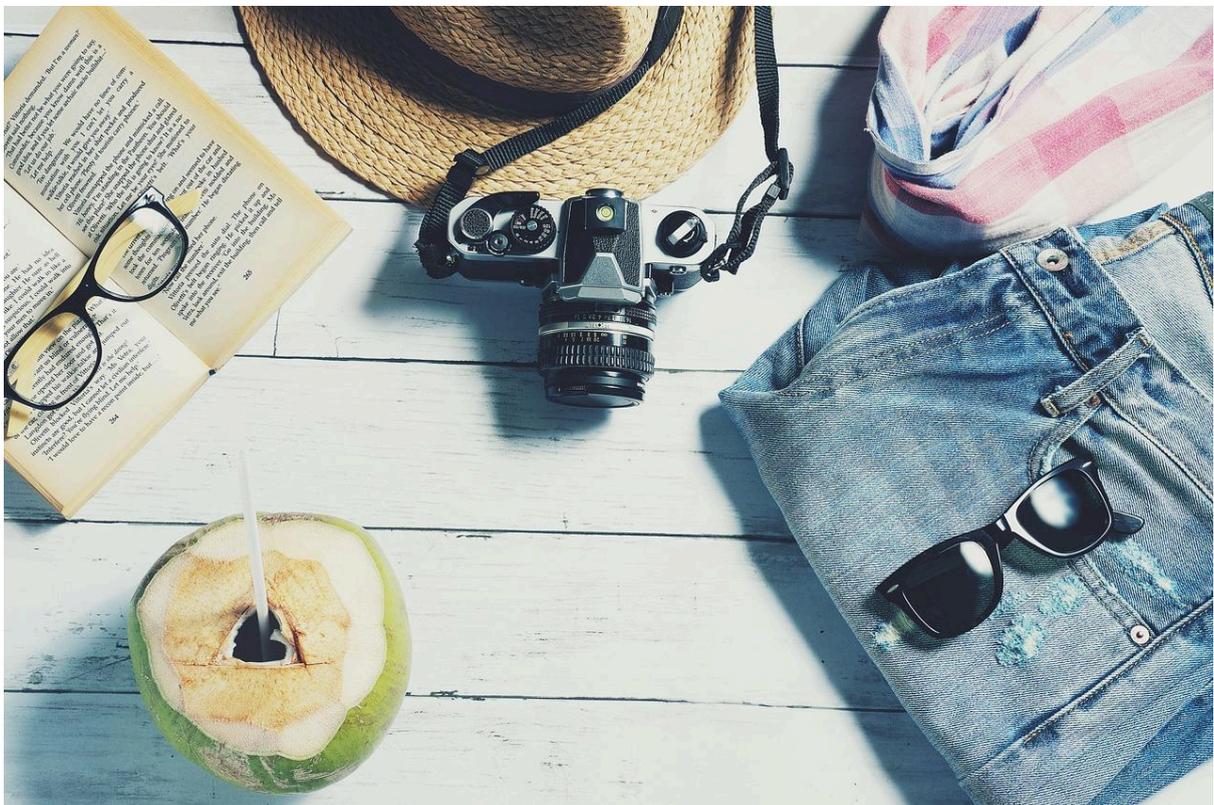
海外旅行を安く実現したい方へ、旅行会社や国際機関の信頼できるデータに基づく情報を発信しています。

実際、多くの旅行者はセール運賃やオフシーズンを活用し、旅費を大幅に削減しているのです。

最後まで読み進めれば、少ない予算でも自由に旅先を選べるでしょう。

家族や友と無理なく海外旅行を楽しむ未来が広がります。

海外旅行を安く楽しむための完全ガイド



海外旅行を低コストで楽しむには、まず行き先を厳選し、航空券や宿泊費を含む全体の予算を管理しましょう。

費用を優先して検討すれば、旅先の選択肢や日程に柔軟性が生まれ、結果として満足度の高い旅行につながります。

日本政府観光局(JNTO)の調査でも、物価が安く比較的渡航費の低いアジア圏への人気は安定して高いと報告されています。

実際に、オフシーズンのタイやベトナムへ格安航空会社で行くケースでは、数万円台の予算でも数日間の滞在が可能です。

また、ツアー会社の早期予約割引やホテルとのパッケージプランを組み合わせると、航空券と宿泊費を大幅に節約できます。

さらに、SNSなどで旅行者の体験談を調べてみましょう。

キャンペーンやクレジットカードの特典をうまく活用し、驚くほど低い費用で海外を満喫しているケースが多く見受けられます。

パッケージプランや特典を活用すれば、円安の時期でも渡航費を抑え、現地のグルメや観光を十分に楽しめるでしょう。

とくに、渡航先選びや予約のタイミングなど基本的なポイントを押さえるだけで、想像以上のコストダウンが期待できます。

結果として、少ない予算であっても充実した海外旅行を実現できるでしょう。

格安海外旅行が成り立つ条件



海外旅行を安く行くためには、まず旅費全体を抑えられる仕組みを理解しておきましょう。

行き先や旅の時期によって航空券や宿泊費が大きく変わるため、賢く予約を行えば円安の影響を受けにくいプランも見つかります。

また、最近ではインターネットで価格比較がしやすくなり、複数のサイトをチェックすれば思わぬ掘り出し物があるかもしれません。

安い海外旅行を実現するうえで重要なのは「オフシーズンやセール情報の把握」と「適切なサービスの組み合わせ」です。

しっかりと情報を集めておけば、短期間の旅行でも比較的安価に海外を楽しめるでしょう。

オフシーズン & 早期予約を狙う

海外旅行の費用を安く抑えるためには、観光客が少ない時期を選びましょう。

オフシーズンはホテル代や航空運賃が下がりやすく、格安ツアーが増えやすいのが特徴です。

たとえば、国や地域によっては雨季や猛暑の時期は観光客が減少するため、料金設定が低くなる傾向があります。

また、早めの予約によって割引を受けられる機会が多く、とくに大手旅行サイトは「早期割引キャンペーン」を積極的に取り入れています。

日本政府観光局(JNTO)のデータでは、連休直後や長期休暇明けは渡航者が減少傾向です。

この時期なら、お得なチケットを見つけやすいでしょう。

LCC(格安航空会社)やセール運賃の活用

実際に費用を下げる方法としては、LCC(格安航空会社)の利用がおすすめです。

LCCは機内サービスを控えた分、運賃を安く設定しています。

円安時でも比較적으로得に渡航可能です。

さらに、セール運賃が発表されるタイミングを狙えば、予想以上の格安価格で航空券を入手できるでしょう。

たとえば、タイやベトナムなど近距離のアジア路線では、往復で1万円台後半のチケットが出る時期もあります。

このようなセール情報はLCC各社の公式サイトやSNSでこまめにチェックしておくのが効率的です。

ツアーやパッケージプランで旅費をまとめて節約

ツアーやパッケージプランを活用すれば、航空券とホテルを個別に手配するよりも割安になるケースがあります。

大手旅行会社やオンライン予約サイトでは、時期により激安プランが見つかります。

予想外に高級ホテルを選ぶ機会も得られるでしょう。

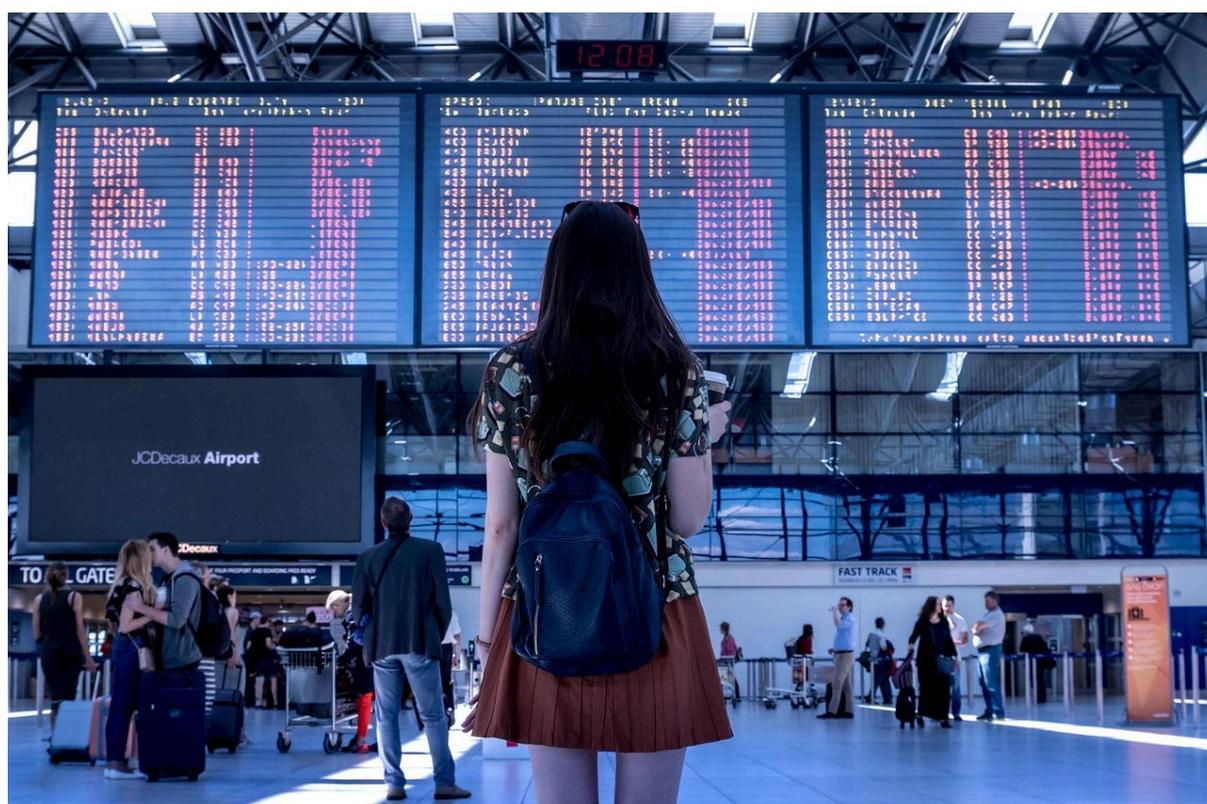
とくに「ホテル＋航空券」や「航空券＋都市間移動チケット」のセットプランは、単体予約より安い料金が多いです。

お得な価格で旅行を楽しむ選択肢が広がるでしょう。

セットプランを活用すれば、浮いた予算を現地での食事やアクティビティに回せ、旅全体がより充実します。

オフシーズンやセール情報をこまめに確認し、必要ならパッケージプランの利用も検討すると良いでしょう。

安い海外旅行のメリット・デメリット



海外旅行をできるだけ安く楽しむなら、まず旅費節約と満足度向上の手法を理解する必要があります。

費用面がクリアになると、日数や行き先を自由に選びやすくなり、行きたい国の優先度も明確になります。

渡航先に近いほど飛行時間が短く航空券代も安くなるため、近場のアジアやリゾートエリアは狙い目です。

一方で、円安の影響により長距離フライトや欧米への渡航に割高感を覚える方も少なくありません。

そこで、まずは費用と満足度のバランスを意識しながら、出発時期や滞在先を計画的に検討しましょう。

メリット: 旅行費用を抑えて多くの国を体験できる

安価な旅行プランを選択すると、その分の予算で別の国へ足を伸ばしたり、現地でのアクティビティを充実させたりできます。

航空会社の格安セールや旅行会社のキャンペーンを活用すれば、意外なお得なツアーに出会えるかもしれません。

また、複数の旅行比較サイトを利用すれば最適な価格帯を探せるため、より多くの国や地域を楽しむチャンスが増えるでしょう。

デメリット: 円安の影響や渡航先の選択肢が限られる場合も

円安が続いている時期には、同じ航空券でも以前より割高と感じるケースが少なくありません。

ホテル代や食事代は、現地通貨のレート次第で出費が増える場合があり、予想を上回る支出になる恐れもあります。

訪問先が遠いほど、費用が上がりやすいので、旅行日数や目的地が制限される場合もあります。

対処法: 現地での出費や旅程を見直して快適に過ごすコツ

まずは基本の出費を見直し、円安時期でも費用を抑えながら旅を楽しみましょう。

たとえば、現地の食事を屋台やローカルレストランで済ませれば、出費が抑えられます。

また、観光地から離れたホテルを選ぶだけで、さらに大幅な節約が期待できます。

オフシーズンや早期予約割引を利用すれば、渡航費を削減でき長期旅行や複数国訪問に挑戦しやすくなります。

結果的に、無理なく旅行プランが組めるので円安のデメリットを最小限に抑え、多様な国や文化を体験できるでしょう。

安く行けるおすすめ海外旅行先



近年は円安傾向が続いていますが、それでも比較的安く行きやすい海外旅行先があります。

エリア別に見てみると、アジアやリゾート地域は物価が手頃で、短期間でも手軽に訪問できる点が魅力です。

また、意外かもしれませんが、ヨーロッパでもタイミングやセール情報をつかめば意外と安く旅行できるケースがあります。

アジアの定番(韓国・台湾・タイ・ベトナム・フィリピン)

韓国や台湾は日本からのフライト時間が短く、格安航空会社の路線が豊富なため、費用をぐっと抑えやすいです。

タイ・ベトナム・フィリピンも物価が安く、ホテル代を抑えてグルメや観光を満喫できます。

リゾートエリア(グアム・サイパン・バリ島など)

短時間のフライトで南国リゾートを味わいたいならグアムやサイパンが人気です。

観光シーズンを外せばホテル料金が安くなることが多く、ビーチアクティビティやショッピングが充実しています。

インドネシアのバリ島も比較のお得なパッケージツアーが見つかりやすい地域です。

比較的安く行けるヨーロッパ(イタリア・フランス・トルコなど)

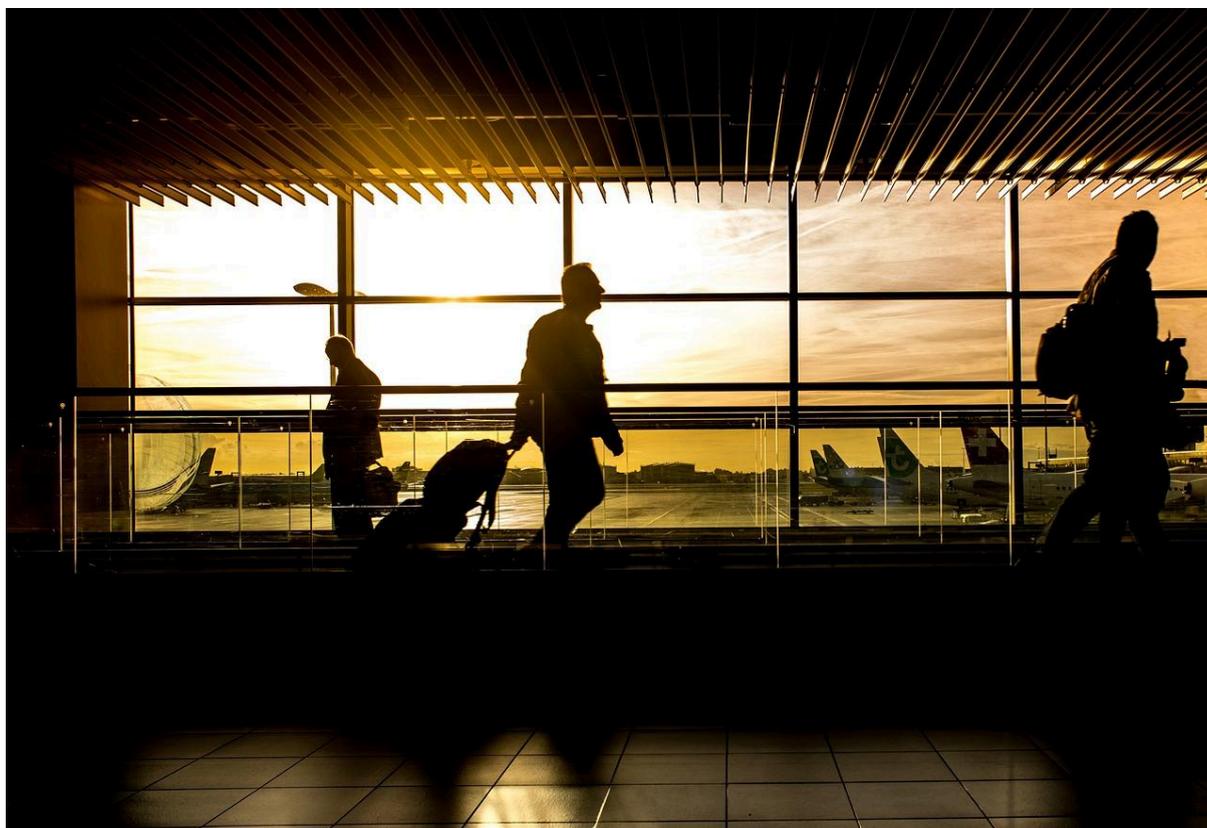
ヨーロッパは距離があるため航空券が高額になりがちですが、時期やキャンペーン次第では意外に安く渡航できる場合があります。

トルコなど東欧や中東に近いエリアは物価が比較的安く、地元グルメを楽しむコストも低めです。

近場のアジアからリゾート、さらにはヨーロッパまで、工夫次第で安価に海外旅行を楽しむチャンスがあります。

航空券やホテルのセール情報をこまめにチェックし、オフシーズンを狙えば、円安でも十分リーズナブルな旅を計画できるでしょう。

安い海外旅行で気を付けたい注意点・リスク



海外旅行を安く楽しむには、まず行き先でどんなトラブルや費用が発生するかを把握しておきましょう。

トラブルに遭ってしまうと、結果的に出費が増えてしまったり、思い出が台無しになったりする可能性があります。

そのため、安全面や費用面のリスクをしっかりと把握し、出発前に対策をおきましょう。

治安や衛生面の下調べは入念に

外務省の海外安全ホームページでは、国や地域ごとの危険情報や衛生状況が随時公開されています。

治安が不安定なエリアはもちろん、流行している感染症など、衛生面で注意すべきポイントを事前に確認しておきましょう。

とくに、現地での医療体制に不安がある場所では、渡航前の予防接種や応急処置セットの準備が欠かせません。

費用を抑えたいからといって安い宿ばかりを選ぶと、セキュリティ対策が不十分な場合があります。

立地や口コミもしっかりチェックして、安全面と費用面のバランスをとりましょう。

燃油サーチャージや両替手数料への対策

旅行費用を見積もる際には、航空券の本体価格だけでなく、燃油サーチャージや両替時の手数料も意外と大きな負担になります。

燃油サーチャージが高い時期は、航空券が安くても総額が上がります。

複数の航空会社や検索サイトで比較検討してみましょう。

また、両替手数料を抑えたい場合は、銀行よりもレートの良い両替所を利用するといいです。

国際ブランドのクレジットカード決済を中心に行ったりするのもおすすめです。

入国に必要なビザ・保険・キャンセル規定を確認

ビザや海外旅行保険の手続き、さらに予約キャンセルに関する規定を理解しておけば、トラブル発生時の追加費用を抑えられます。

ビザが必要な国へ行く際は、申請漏れで再手続きが発生する恐れがあります。

無駄な出費を防ぐため、外務省の渡航情報や大使館公式サイトを必ず確認しましょう。

保険に関しては、クレジットカードに付帯する旅行保険を活用すると費用を節約できます。

リスク管理がきちんとできれば、安い海外旅行でも安心して滞在を楽しめるでしょう。

安い海外旅行の手順



海外旅行をなるべく安く実現するためには、事前におおまかな旅の流れを知っておくと安心です。

まずは行き先や日数を決めるところから始め、予算に合わせて最適な予約方法を探します。

必要な荷造りや両替など、準備を済ませれば現地でスムーズに移動でき、アクティビティも思い切り楽しめます。

こうしたステップを踏めば、円安の影響を受けつつも無駄な出費を抑えやすくなり、全体的な旅費を低く抑えられるでしょう。

計画～予約:目的や予算に合うプラン選び

まずは自分の旅の目的(リラックス重視、観光名所めぐりなど)と大まかな予算を決めます。

複数の旅行サイトや格安航空会社の情報をチェックするのがポイントです。

セールやキャンペーンを活用すると、時期によっては通常よりもかなり割安なプランが見つかるでしょう。

予約が早ければ早いほど選択肢が広がります。

出発前準備:荷造り・通貨両替・SIMカード手配など

実際に安く海外へ行く際、出発前のちょっとした工夫が旅のクオリティを大きく左右します。

たとえば、荷物は機内持ち込みサイズにまとめれば受託手荷物料金を節約できます。

さらに、現地での通信費を抑えたい場合は、日本国内で海外対応のSIMカードを購入しておく心安いです。

両替手数料についても、クレジットカードの利用を中心にするると現金への両替が最低限で済むため、余計な負担を軽減できます。

出発前に準備をしっかり行えば、目的地到着後にスムーズに行動できるメリットがあります。

現地での移動やアクティビティの手配

現地交通や観光ツアーの予約などを上手に組み合わせれば、想定外の出費を防ぎつつ旅を満喫できます。

公共交通機関の乗り放題パスや現地オプショナルツアーは、個別に利用するよりも割安になるケースが多いです。

とくに、移動時間やアクセス方法を事前に調べておくと、タクシーに依存せずに済むため費用を大幅に抑えられます。

細かな手順を踏んで、全体的にお得な旅を楽しみましょう。

おすすめの安い海外旅行向け商品・サービス



お得に海外へ行くには、飛行機や宿泊費を含む全体的なコストをしっかりと抑える必要があります。

LCC(格安航空会社)の国際線利用者が増加傾向にあり、オンライン予約サイトを通じて航空券やツアーを探す人も多いです。

リーズナブルな旅行を実現できる商品やサービスとして以下の点があります：

- 格安航空券が手に入りやすい予約サイト
- コスパの良いツアー会社
- 付帯保険が充実したクレジットカード

それぞれを具体的に見ていきましょう。

格安航空券を探せるオンライン予約サイト

まずは航空券代を安くすれば、全体の旅費を大きく削減できます。

比較サイトでは複数の航空会社や経路便を一度に検索でき、セール情報もキャッチしやすいのがメリットです。

とくに、オフシーズンとセール時期が重なると、通常より大幅に割安なチケットを入手できます。

おすすめオンライン予約サイト

Skyscanner(スカイスキナー)

- URL: <https://www.skyscanner.jp/>
- 世界中の航空会社や旅行代理店の料金を一括検索できるサイト。
- オフシーズンやセール情報もタイムリーに表示されるので、最安値を探しやすいのが魅力。

エアトリ(AirTrip)

- URL: <https://www.airtrip.jp/>
- 国内・海外問わず航空券の検索・予約が可能。
- セール期間やクーポンが頻繁にあるため、タイミングが合えばお得なチケットを見つけやすい。

Expedia(エクスペディア)

- URL: <https://www.expedia.co.jp/>
- 航空券だけでなく、ホテルやツアーも同時に予約可能。
- 航空券とホテルを同時予約すると割引が適用されるキャンペーンがあることも多い。

トラベルコ

- URL: <https://www.tour.ne.jp/>
- 各航空会社や旅行会社のプランをまとめて比較できる。
- LCCのチケットもしっかり検索可能で、最安値を見つけやすい。

コスパ重視のおすすめツアー会社

ツアー会社のパッケージプランなら、航空券・ホテル・送迎などが一括で予約できるため、個別手配より費用を抑えられる場合があります。

時期によっては高級ホテルや長めの滞在でも意外と低価格なプランが出るため、複数社を比較検討するのがおすすめです。

おすすめツアー会社

HIS(エイチ・アイ・エス)

- URL: <https://www.his-j.com/>
- パッケージツアーが豊富で、早期予約や限定セールなどのキャンペーンが頻繁に行われる。
- 海外支店も多く、現地サポートを重視したい人に安心感がある。

JTB

- URL: <https://www.jtb.co.jp/>
- 大手ならではの安心感と、幅広いホテル・航空会社の取り扱いが特徴。
- 季節限定やグレードの高いホテルと組み合わせたツアーで、思わぬ割安価格になる場合も。

Club Tourism(クラブツーリズム)

- URL: <https://www.club-t.com/>
- 趣味や目的に特化したツアー企画が多く、国内外問わず様々なジャンルを網羅。
- コスパ重視のプランからラグジュアリープランまで幅広い選択肢がある。

旅行会社経由のオンライン予約サイト例

- エクスペディア(**Expedia**): 前述のオンライン予約サイトとしても使える。

- 楽天トラベル: <https://travel.rakuten.co.jp/>
楽天ポイントが貯まりやすく、セール時期には意外な掘り出し物がある。

※ツアー会社によっては「航空券＋ホテル」のセット販売で大幅割引があるので、複数社を一度に比較するのがおすすめです。

付帯保険や優待サービスが充実したクレジットカード

クレジットカードの選び方も重要です。

旅行保険が自動付帯のカードなら、保険料の支払いは不要です。

さらに、空港ラウンジ利用やポイント還元など、魅力的な特典が揃っています。

こういったサービスをうまく活用すれば、安い海外旅行の準備段階から帰国まで、快適さとお得感を同時に得られます。

航空券、宿泊先、移動手段を全体で見直しましょう。

商品とサービスを組み合わせれば、リーズナブルで満足度の高い海外旅行が実現できます。

おすすめクレジットカード

楽天プレミアムカード

- **URL:** <https://www.rakuten-card.co.jp/card/rakuten-premium-card/>
- 海外旅行保険が自動付帯(利用条件等は要確認)。
- 世界各国の空港ラウンジを利用できる「プライオリティ・パス」が無料付帯しているため、トランジットの多い旅でも快適。

エポスカード(ゴールド／プラチナ)

- **URL:** <https://www.eposcard.co.jp/>
- ゴールドカード以上になると、海外旅行保険が自動付帯で補償額が大きめ。

- 年会費無料キャンペーンなどもあり、コスパが高いと評判。

三井住友カード ゴールド(NLなど)

- URL: <https://www.smbc-card.com/>
- 長期的に利用するとポイント優遇や各種保険・補償が充実。
- 海外旅行保険の家族特約が付くなど、家族旅行にも安心感がある。

アメリカン・エクスプレス・ゴールド・カード

- URL: <https://www.americanexpress.com/jp/>
- 高額な年会費だが、海外旅行保険・空港ラウンジ特典など充実のサービス。
- 手厚いサポート体制があり、万が一のトラブル時も安心感がある。

まとめ

安く海外旅行をするには、時期や行き先の選択、そして予約方法の工夫が大切です。

円安でもお得に楽しむには、以下のポイントを押さえておきましょう。

1. セール情報をこまめにチェック
2. LCCとパッケージプランの併用
3. 平日やオフシーズンを選ぶ
4. 両替や保険を事前に対策
5. ポイント特典やキャンペーンを活用

これらを実践すれば、限られた予算でも充実した海外旅を叶えられます。